

スポーツが果たしうる役割



スポーツの秋。
田村市でも、いくつものスポーツの大会やイベントが開催されています。地域で、市全体で、男女を問わず、子どもからお年寄りまで、爽やかな汗を流しています。

スポーツは、心身の健康のために、教育の一環として、あるいは娯楽として行われるのが一般的です。しかし、スポーツの役割はそれだけでしょうか。オリンピックの理念では、スポーツが果たしうる役割として、「国際交流」ひいては「平和」も掲げています。

市では先月、県内初の国際交流運動会が開催され、市民と外国人が交流しました。また、ネパールの陸上競技選手が事前合宿で田村市に滞在、市民と交流したり田村富士ロードレースに出場したりしました。

スポーツをすることで、文化や国籍などの違いを超えてお互いを理解し合うことができ、平和で、より良い世界が進展する……。このオリンピックの理念のもと、田村市も、2020年東京オリンピックの機運を盛り上げていきます。

ネパールの陸上競技 代表候補選手が 市内で強化合宿

10月17日から24日までの8日間、東京オリンピックに向けて、ネパール陸上競技の代表候補選手が、ホストタウンである田村市で、県内で初めて陸上長距離の強化合宿を行いました。

北京オリンピック女子マラソン日本代表で活躍した中村友梨香さんを専任コーチに迎え、市陸上競技場とクロスカントリーを中心に練習したほか、田村高校と合同練習を行った



クロスカントリーでトレーニングに励むネパールの選手



ネパールの選手と交流する都路中学校生徒



田村富士ロードレース大会で選手たちと並走する中村さん

国際交流運動会で 外国人と市民が交流

10月13日に市陸上競技場で開催された「田村市国際交流運動会」。

田村市在住の外国人、FSGカレッジリーグ留学生、市民合わせて約200人が参加しました。

外国人と市民が交流する運動会の開催は、県内で初めての事です。日本人と外国人がペアを組む競技では、互いに協力しながら勝利を目指しました。

田村富士ロードレース 大会に1000人超が 参加

秋のさわやかな空気の中、第37回田村富士ロードレース大会が10月21日に開かれました。県内外から1000人を超えるランナーが出場。子どもから大人まで26部門に分かれ、秋の田村路で健脚を競いました。

中村友梨香さん、ネパール陸上競技の代表候補選手も参加し、大会を盛り上げていただきました。



秋晴れの中、疾走する選手たち



ラストパートをかける親子



みんなで力を合わせた玉入れ
約80人の外国人が参加



● 問い合わせ
教育部生涯学習課

☎ 81-1215